

日本癌治療学会市民公開講座 in 盛岡



■ 講師貴子さん(TBSニュース23)開会あいさつ ■

現在、日本では男性の2人に1人、女性の3人に1人ががんになるといわれています。誰もが当事者になり得るがんですが、偏見や誤解があるのも事実です。

皆さんはキャンサーサバイバー、キャンサーサバイバーシップという言葉、考え方を知っているでしょうか。「サバイバー」はがん患者を受ける

けた個人がその生涯を全うするまでを意味します。また、その家族、友人、ケアにあたる人々なども、その影響を受けサバイバーに含まれるべき」と定義されています。

講座は、がん体験者、患者団体、支援団体の協力を得て、「がん体験者による、がん体験者のための市民公開講座」をコンセプトに開催します。

パネルディスカッション

の心境は、私ががんになったのは、まだ知らない時代だった。自分が医学を勉強して医師に向かって、やがてがんになると、自分たちがどう対応すべきか、不安な気持ちだった。やがてがんは減った。でも、がんとともにどうしたらいいか、何をすればいいか、と心配している。すると、医師は「あなたはがんになりました」とおっしゃったのです。そこで、がんになってしまったときに、どう対応すればいいのか、と心配している。すると、医師は「あなたはがんになりました」とおっしゃったのです。そこで、がんになってしまったときに、どう対応すればいいのか、と心配している。

（柳原和子さん）

（柳